

## 第30期目録委員会記録 No.16

### 第16回委員会

日時：2006年10月28日（土）14時～16時

場所：日本図書館協会5階会議室

出席：永田委員長，荻原，鈴木，平田，古川

欠席：原井，増井，横山，渡邊

<事務局>磯部

#### [配付資料]

1. 正誤表 [NCR挟み込み用、ウェブ掲載用] (2ページ-A4, 事務局)
2. FRBR Chapter 3: Entities: Proposed changes to the FRBR text [変更箇所をマークしたコピー、清書コピー] (各4ページ-A4, 事務局)
3. 書誌レコードの機能要件 [p.25-27抜刷] (3ページ-A4, 古川委員)
4. 第30期目録委員会記録No.15 (4ページ-A4)

#### [報告事項]

1. 日本目録規則1987年版改訂3版の正誤表について  
配布資料1に基づき、事務局より日本目録規則1987年版改訂3版の正誤表を作成した旨の報告があり、以下の確認がなされ、公表することとした。
  - ・ 標題紙裏については、例ではないのでカンマの後にスペースを表す記号は入れずに、このままとする。
2. ISBD Consolidated Edition (draft)について  
永田委員長より、ISBD Consolidated Edition (draft)について以下のような報告があった。
  - ・ 分担して作業を行ったISBD Consolidated Editionに適合したCJKの例示の提案については、韓国中央図書館のイ・チェソン氏が日本・韓国・中国から出された例示を取り纏めることになっている。
  - ・ 原井委員が作成した継続資料に対するコメントと、横山委員が作成した電子資料に対するコメントを提出した。
3. IME-ICCについて  
永田委員長より、IME-ICCの会議後に行われる予定であったメーリングリストでの議論については、開始が遅れている旨の報告があった。
4. 全国図書館大会について  
全国図書館大会でシンポジウムのようなものを行って欲しい意向があるようだが、現状では抽象的な議論しかできないので難しい、との意見があった。

[検討事項]

1. FRBRの改訂の提案について

配布資料2及び3に基づき、古川委員よりIFLAによるFRBRの改訂の提案について説明があり、以下のような意見が出された。

- ・ 何をもって新しい表現形と見なすかの基準について、現テキストには二つの基準が並存している。その点に関して厳密な方の基準を緩め、ゆるやかな方の基準を厳しくして、両者の開きを縮めようとしているようである。
- ・ 表現形はあくまで抽象的なものであるため、表現形を記録の本体にしようとの提案もあるが難しいと思われる。

2. 日本目録規則の今後の改訂について

現在の日本目録規則について課題を整理して、今後の日本目録規則の改訂の枠組を作成することを今期の目標とし、以下の分担で作業を行う。

- ・ 現在の日本目録規則の課題整理：横山委員
- ・ RDAの動向調査：古川委員
- ・ MODSの動向調査：平田委員
- ・ リポジトリのメタデータの動向調査：荻原委員
- ・ 委員長メモの改訂：永田委員長

次回以降の委員会の予定

11月25日（土）14:00～

1月6日（土）14:00～

以上